至誠館大学

科目名	音楽療法			コード	1348		
英語表記							
担当教員名	古根川 円			年度	平成28年度		
基準年次	4年次	開講期	前期	単位数	2		
授業形態		授業形式	講義	履修形態	選択必修		
授業概要							
社会的に福祉の理解は深まってきたものの、実際にはまだまだ暗い風潮が漂っている。音楽療法は音楽を意図的に用い、心身の障害の手助けをする活動である。本講義では、唱歌や童謡、リズム楽器を用い音楽の楽しさを通して現場に即した実践を展開していきます。また、どのような音楽がどのような効果をもたらす影響するのか、音楽を構造面から分析し、実際に施設現場へ出かけ明らかにしていきます。							
到達目標							
音楽療法に必要な音楽の個人情報レベルの向上。・セッションプランの立案が立てられる。・現場に即した実践ができる。							
授業計画							
第1回	概要:音楽療法とはなにか、音楽療法の定義						
第2回	音楽療法の対象者						
第3回	音楽療法士の個人資質、音楽療法士の育成						
第4回	音楽療法に必要な音楽の情報収集:唱歌						
第5回	音楽療法に必要な音楽の情報収集:童謡						
第6回	音楽療法に必要な音楽の情報収集:演歌						
第7回	セッションの手順・立案・評価						
第8回	プログラムの実践、第1回施設現場における実践						
第9回	施設現場実践の討議						
第10回	プログラムの実践、第2回施設現場における実践						
第11回	施設現場実践の討議						
第12回	プログラムの実践、第3回施設現場における実践						
第13回	施設現場実践の討議						
第14回	実践記録のまとめ						
第15回	現場の課題と展望						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
プログラムの立案等のレポート、模擬実践、観察討議の内容より評価する。プログラムの立案通りに現場実践ができているかが評価の基準になる。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
			0	20	80	0	0
授業外学習			テキスト、教材				
音楽の情報収集、プログラムの立案の課題は必ず予習して来て下さい。			プリントを配布				
参考書			受講生へのメッセージ				
お年寄りの音楽療法実践の手引き<改訂版Ⅱ>(ドレミ楽譜出版社)、音楽療法入門第2版上(一麦出版社)			授業態度には、プログラムの立案の模擬実践が含まれますので欠席はしないようにして下さい。				
キーワード							
現場実践・個人観察・情報収集・評価							